

「しんにょう」の崩し方



(n)は最初の2文字が難関です。この2文字は飛ばして、3文字目の **仕** から3文字は「御^{おんたいせつ}大切」と読めると思います。次の **二** は何回か出てきた「二」で、次の **仕** は「仕」です。したがって「御大切^{つかまつり}二仕」となるわけです。

さて、問題の **仕** ですが、慣れてくると目が行くのが偏の **フ**

ではなくて、旁の **と** の中にある **と** の部分です。この急カーブした崩しは「**之**」や「**之**」などの時に使われます。これは頻出しますから、覚えておいてください。第19回で出てきた「**之**」(道)も「**之**」です

が、共通するものがあると思います。また、偏の **フ** は「**土**」にも見え、「**言**」にも見え、といったところです。したがって **仕** は、**0i0** とか **0z0** とかいった感じの字です。

そこで、先に次の文字 **分** を読んでみます。この字は崩しがきついのですが、この崩し方でよく出てくる字で、「分」という字です。すると、「**分**」で思い当たるのは、「随分」(ずいぶん)という字になります。

(o)も難しい部分です。最初の **猶** は「**猶**」という字です。**猶** だけだと難しいですが、そ

の下の **又** (又)とセットで「**猶又**」^{なおまた}という言い回しはよくあるので、**猶** は「**猶**」

とわかるのです。次の **雨** は「**雨**」でしょう。**雨** で一文字に見えるかもしれませんが

ません。**天** は、知らなければ読めない崩し方で「**天**」という字です。「**天**」

はひらがなの「**て**」という字の元の字です。それがわかると、**天** は「**て(天)**」

に見えてくるかもしれません。最後の **等** は、頻出する重要な語句で「**ホ**」に

見えますが、これが「**等**」^{など}という字の崩しです。これから何度も出てきますので、ここで覚えてしまってください。(o)はかなり難しかったと思いますが、「**猶又雨天等**」^{なおまたうてんなど}となります。

